

(様式) 育児調査票 (対象: 都内に勤務するすべての男性従業員)

あなたの「育児に関する状況」について伺います

Q1 あなたは現在、小学校に入る前のお子様（未就学児）をお持ちですか。【〇は一つ】

1. 未就学児がいる →Q2 へ進んでください
2. 未就学児はいない →Q3 へ進んでください

【Q1 で「1. 未就学児がいる」と回答した方にお伺いします】

Q2 育児と仕事に関して両立できていると思いますか。【〇は一つ】

1. 育児と仕事をうまく両立できている
2. 育児の影響があり、仕事に満足していない
3. 仕事の影響があり、育児に満足していない
4. 育児と仕事のどちらも中途半端で不満がある
5. どちらともいえない

【Q1 で「2. 未就学児はいない」と回答した方にお伺いします】

Q3 育児と仕事を両立しやすくするために推進すべきと考える施策はどれですか。子育て経験の有無にかかわらず回答してください。【〇は一つ】

1. 保育所の整備
2. 一時的な保育など働き方に対応した保育の充実
3. 育児休業制度の充実
4. 労働時間の短縮など、働きながら育児をしやすい柔軟な働き方の推進
5. 男性が育児に参加することへの職場や社会環境の整備
6. 育児不安やストレスに対する相談
7. その他 ()
8. 特にない

【すべての方にお伺いします】

Q4 子供と仕事の関係についてどう思いますか。子育て経験の有無にかかわらず回答してください。

【〇はいくつでも】

1. 子供ができて仕事をするはりあいができる
2. 子育ての経験が仕事に役立つことがある
3. 子育てをしているために仕事が十分にできない
4. 仕事をするのが子育てに好影響を与えている
5. 仕事の経験が子育てに役立つことがある
6. 子育てをしているために子育てが十分にできない
7. 育児と仕事で生活にメリハリができる
8. 子供と仕事は関係がない
9. その他 ()

「育児休業」について伺います

Q5 ご自身および配偶者の育児休業の取得状況についてお伺いします。【○は父親・母親それぞれ一つ】

	取得しなかった	当時、雇用者では なかった	取得した
父親（ご自身）			
母親（配偶者）			

子供はいない	
--------	--

【Q5で「父親が取得した」と回答した方にお伺いします】

Q6 父親が育児休業を取得した期間はどのくらいですか。期間を数字で記入し単位をお選びください。

【○は一つ】

育児休業を取得した期間 (1. か月 2. 週間 3. 日)

【Q5で「母親が取得した」と回答した方にお伺いします】

Q7 母親が育児休業を取得した期間はどのくらいですか。期間を数字で記入し単位をお選びください。

【○は一つ】

育児休業を取得した期間 (1. か月 2. 週間 3. 日)

【Q5で「父親が取得した」と回答した方にお伺いします】

Q8 育児休業中、職場であなたの担当していた仕事を誰が代わってやっていましたか。

【○はいくつでも】

1. 社内の人員を異動させる
2. 社外から人員を補充する →Q9へ進んでください
3. その他 ()
4. 代替者はない
5. わからない

【Q8で「社外から人員を補充する」と回答した方にお伺いします】

Q9 社外から補充された人員の雇用形態は、どのようなものでしたか。【○はいくつでも】

1. パート・アルバイト
2. 契約労働者
3. 派遣労働者
4. その他 ()

【子育て経験のある方にお伺いします】

Q10 育児休業制度について、どのような育児休業制度であればより利用しやすくなると思いますか。

【〇はいくつでも】

1. 1人の子供について、父親・母親が交互に取得する等、複数回に分けて取得できる
2. 育児をしてくれる人がいる場合（配偶者が専業主婦・育児休業中、保育園に入れた）であっても、育児休業を取得できる
3. 2歳を超えて育児休業をすることができる →Q11へ進んでください
4. その他（)
5. 今のままでよい
6. わからない

【Q10で「2歳を超えて育児休業をすることができる」と回答した方にお伺いします】

Q11 「2歳を超えて育児休業をすることができる」を選んだ理由について、あてはまるものをすべてお答えください。【〇はいくつでも】

1. 保育園の入園可能時期にあわせるため
2. 子供がもう少し大きくなるまで一緒にいたいから
3. 育児休業終了直前の子供の状態（病気等）によっては、これにあわせた対応が必要だから
4. その他（)

【Q10で「2歳を超えて育児休業をすることができる」と回答した方にお伺いします】

Q12 具体的にいつまで育児休業を延長することができるとよいですか。【〇は一つ】

1. 2歳の誕生日、または2歳の誕生日の次の3月末まで
2. 3歳の誕生日、または3歳の誕生日の次の3月末まで
3. 保育園に入園できるまで

父親の「育児休業」について伺います

【Q5で「父親が取得した」と回答した方にお伺いします】

Q13 父親が育児休業を取得してよかったことは何でしたか。【〇はいくつでも】

1. 子供と一緒にいられたこと
2. 仕事への意欲が高まったこと
3. 視野が広がるなど自分が成長できたこと
4. 妻から感謝されたこと
5. 家事がうまくなったこと
6. その他（)
7. 特にない

【Q5で「父親が取得した」と回答した方にお伺いします】

Q14 父親が育児休業を取得したことによるデメリットはありましたか。【〇はいくつでも】

1. 仕事に支障が生じた（仕事が遅れた、上司・同僚に迷惑をかけた）
2. 育児がうまくいかなかった
3. 休業中の生活がつまらなかった
4. 職場での自分に対する評価が下がった
5. 経済的に困った
6. その他（)
7. 特にない

【Q5で「父親が取得しなかった」と回答した方にお伺いします】

Q15 父親が育児休業を取得しなかった理由について、あてはまるものをすべてお答えください。

【〇はいくつでも】

1. 父親が休む必要がなかった（妻が育児休業を取得した、保育園に入れたなど）
2. 父親ひとりでは育児ができない・したくない
3. 父親が仕事の都合がつかなかった（仕事が中断できない、職場で理解が得られない等）
4. 父親が仕事を休みたくなかった
5. 父親の給料が母親よりも高かったから
6. 父親の給料が入らないと経済的に困るから
7. 父親も育児休業がとれることを知らなかった
8. その他（)

【すべての方にお伺いします→Q16～Q18】

Q16 育児休業中は育児休業給付金が支給され、社会保険料が免除されることを知っていますか。

【〇は一つ】

1. 知っている
2. 育児休業給付が支給されることは知らなかった
3. 社会保険料が免除されることは知らなかった
4. 育児休業給付が支給されること、社会保険料が免除されること、いずれも知らなかった

Q17 産後8週間の期間中については、妻が専業主婦である場合や、妻が産後休業中の場合でも、子供の父親が育児休業を取得できることを知っていますか（会社に規程がなくても、育児休業法によって取得する権利が認められています。）

1. 知っている
2. 知らない

Q18 もし次に機会があれば、あなたは産後8週間に育児休業をとりたいと思いますか。【〇は一つ】

1. ぜひとりたい
2. できればとりたい
3. とりたくない
4. わからない

→Q19 へ進んでください

【Q18で「とりたくない」と回答した方にお伺いします】

Q19 とりたくない理由について、あてはまるものをすべてお答えください。【〇はいくつでも】

1. 妻が希望しないと思う
2. 育児や家事はできない・したくない
3. 自分以外に手伝ってくれる人がいる
4. 収入が減る
5. 仕事に支障が生ずる
6. 職場での評価が下がることが心配
7. その他（

）

企業が行う「育児支援」について伺います

【ここからはすべての方にお伺いします】

Q20 自社が行う育児支援のうち、現実に利用しているもの（利用したことがあるもの）はどれですか。

なお、別の企業に勤めていた際に利用した制度は含めないでください。【〇はいくつでも】

1. 短時間勤務制
2. フレックスタイム制
3. 始業・終業時刻の繰上げ又は繰り下げ
4. 週・月の所定労働日を減らす(例：週に2～4日働く)
5. 残業の免除
6. 休日労働の免除
7. 事業所内託児施設
8. 病児保育施設・病後児保育施設
9. ベビーシッター等の利用経費の補助
10. 在宅勤務
11. モバイルワーク又はサテライトオフィス勤務
12. 時間単位で取得できる看護休暇制度
13. 時間単位で取得できる看護休暇制度の中抜けでの利用
(中抜け：就業時間の途中から時間単位の休暇を取得し、就業時間の途中に再び戻ることを指す)
14. その他 ()
15. 何も利用していない
16. 現在の会社に入社してから、未就学児の子育てはしていない(または 子供はいない)

Q21 自社が行う育児支援のうち、実際は利用していないが、できれば利用したい（利用したことがないが、できれば利用したかった）ものはどれですか。現在、所属している会社にはない制度も含めて回答してください。【〇はいくつでも】

1. 短時間勤務制
2. フレックスタイム制
3. 始業・終業時刻の繰上げ又は繰り下げ
4. 週・月の所定労働日を減らす(例：週に2～4日働く)
5. 残業の免除
6. 休日労働の免除
7. 事業所内託児施設
8. 病児保育施設・病後児保育施設
9. ベビーシッター等の利用経費の補助
10. 在宅勤務
11. モバイルワーク又はサテライトオフィス勤務
12. 時間単位で取得できる看護休暇制度
13. 時間単位で取得できる看護休暇制度の中抜けでの利用
(中抜け：就業時間の途中から時間単位の休暇を取得し、就業時間の途中に再び戻ることを指す)
14. その他 ()
15. 利用したいものはない